厚生労働省委託オンデマンド研修

JCSW 日本社会事業大学 Japan College of Social Work

２０２３年度【オンデマンド総合研修】開催決定！！

～社会とつながるプロジェクト JCSW×Community～

包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修

2023 年度

実践、行政動向から理論までを学ぶ

日本社会事業大学で、令和５年９月から Zoom 方式で開催した連続講座「厚生労働省委託オンライン総合研修」を、ご好評につき、オンデマンド研修として再構成しました。各分野の専門家・実践者の最新知見による講義を、セットでリーズナブルに受講できます。

録画配信による学習

挨　拶

日本社会事業大学　学長

行政説明

厚生労働省社会・援護局
地域共生社会推進室

共通前半
- 生活保護
- 生活困窮者支援
- 地域福祉

専門分野選択
- ①子ども家庭支援
- ②障害者支援
- ③高齢者支援

共通後半
- 振り返り
- 全体の総括
（分野横断）

パネルディスカッション
- 本学教員による全体像の俯瞰

直近の施策の方向性

特別講義（LGBTQ＋/しくみづくり/文化の多様性）

専門性×分野横断的視点

①子ども家庭支援

②障害者支援

③高齢者支援

生活保護
生活困窮者支援

地域福祉

多機関協働による
包括的な相談支援

ピアサポート

地域の強み（資源）
と
地域課題

共通前半　共通後半

重層的支援とソーシャルワークの理念と実践

厚生労働省委託オンデマンド研修

行政説明

No	講義	講師	時間
1	挨　拶	横山　彰　本学学長　中央大学　名誉教授	2分
2	行政説明　重層的支援体制整備事業について	米田　隆史氏　厚生労働省　社会・援護局 地域福祉課　地域共生社会推進室長	20 分

共通前半（生活保護・生活困窮者支援・地域福祉）

3	地域福祉の推進を目指した包括的な支援体制の構築と重層的支援体制整備事業	永田　祐氏　同志社大学　社会学部　教授	82 分
4	個と地域の支援を一体的に進めるための重層的支援体制整備事業の活用～受け止め、支え、輪を広げる包括的支援体制の構築を目指して～	森脇　俊二氏　社会福祉法人　氷見市社会福祉協議会　事務局次長	88 分
5	第三の居場所としてのコミュニティカフェ運営の実際～地域共生社会における「誰もが」利用できる場所の可能性～	倉持　香苗　本学　社会福祉学部　准教授 髙橋　吏佳氏　社会福祉法人　南三陸町社会福祉協議会地域福祉係長兼結の里管理者	67 分
6	地域づくりの視点と方法	菱沼　幹男　本学　社会福祉学部　教授	80 分

専門分野①　子ども家庭支援

7	こどもまんなか社会における子ども家庭支援 ～養育文化と子育てのライフサイクルに焦点をあてて～	有村　大士　本学　社会福祉学部　教授	79 分
8	包括的な子ども家庭支援における看護の役割 －重層的支援にどう貢献できるか－	来生　奈巳子氏　国立看護大学校　教授	85 分
9	包括的な子ども家庭支援を展開するために 事例と法令、理論から学ぶ	宮島　清　社会福祉士 本学　専門職大学院　客員教授	28分

専門分野②　障害者支援

10	8050 ケースへの支援	近藤　直司氏　大正大学　名誉教授	45 分
11	ひきこもりをテーマにご家族の立場から	池上　正樹氏　ジャーナリスト KHJ全国ひきこもり家族会連合会　副理事長	80分
12	ある当事者の経験を通してひきこもりを考える	曽根　直樹　本学　専門職大学院　教授 下田　亮太（つきゆび）氏 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 高知県やいろ鳥の会　KHJ 全国ひきこもり家族会連合会認定　ひきこもりピアサポーター	59 分
13	ひきこもりの人に対する支援をどのように考えるか		8分

厚生労働省委託オンデマンド研修

専門分野③　高齢者支援

No	講義	講師	時間
14	高齢者保健福祉の課題と支援	下垣　光　本学　社会福祉学部　教授	78 分
15	『出逢い直し』の地域共生社会 ーソーシャルワークの『社会変革』を 検討するー	中島　康晴氏 REGIONO グループ　代表者	74 分
16	意思決定支援の基礎と実践	渡邉　浩文氏 武蔵野大学　人間科学部　教授	88 分
17	複合的課題と支援	下垣　光　本学　社会福祉学部　教授 山本　繁樹氏　社会福祉法人　立川市社会福祉協議会　総合相談支援課長	35 分

共通後半（振り返り　全体の総括）

18	これからの包括的支援体制の構築に向けて 受講生グループディスカッション	北川　進　本学　専門職大学院　講師　他	15 分
19	パネルディスカッション	入部　寛　本学　社会福祉学部　教授　他	90 分

★メッセージ★　地域共生社会における重層的支援体制構築について、横のネットワークが大切であることを改めて気づくことができました（社会福祉士）／交通の便が悪い地域に住んでいる者としては、オンライン研修はありがたいです（公務員）／他分野を少し知れただけでも相手の動き方を考えられるようになりました（社協職員）

特　別　講　義

20	ソーシャルワークと LGBTQ+	ヴィラーグ　ヴィクトル 本学　社会福祉学部　准教授	80分
21	個別支援と地域支援の一体的な事例検討 方法　　9 マスシートによる事例検討	菱沼　幹男　本学　社会福祉学部　教授 萩谷　智美氏　医療法人社団青燈会　那珂市地域包括支援センター青燈会　センター長	31分
22	重層的支援体制構築への取り組み ～多機関協働のしくみづくり～	熊木　しづ子氏　埼玉県　市町村総合相談構築推進部会　部会員兼アドバイザー	78分
23	ソーシャルワークと文化の多様性	ヴィラーグ　ヴィクトル 本学　社会福祉学部　准教授	80分

＜注1＞電話・FAX・郵送による申込みは受け付けておりません。専用フォームをご活用ください。
＜注2＞いただいた個人情報は、参加者名簿作成、メール送付、緊急時の連絡以外には利用しません。
＜注3＞内容・スケジュール等は変更になる場合がございますことをご了承ください。
＜注4＞障害等のために配慮が必要な方は、申込み時にご連絡ください。
＜注5＞ログイン ID、パスワード等の転送はおやめください。
＜注 6＞リアクションペーパー、アンケートにご協力ください。

厚生労働省委託オンデマンド研修

JCSW 日本社会事業大学 Japan College of Social Work

日 程 令和５年 **12 月 20 日(水)～**令和６年 **2月末**

受付締切り 令和６年２月15日(木)

講義の詳細は内面をご参照ください。
全 23 回(行政説明／共通前・後半／専門分野／特別講義等)

受講形態 オンデマンド(録画配信) YouTube 配信

※参加にはインターネット環境およびパソコン・スマートフォン等が必要です。

定 員 なし

検索 ☞ 社大 学長室

対 象 ①地方公共団体職員(公務員)の方 ※職位、経験年数、国家資格有無は問いません。

②重層的支援体制整備事業において地域を支える事業・活動に従事される方

※生活困窮者自立相談支援事業、利用者支援事業、基幹相談支援センター、地域包括支援センター等の法定事業、民生児童委員および社会福祉協議会の活動。
※地域のボランティア活動(例:子ども食堂／コミュニティカフェ)、住民自治・地域振興にかかわる活動(例:地域自主組織／自治会活動)、医療系法人における地域連携活動、民間営利法人における社会貢献活動等

受講料 ①個人 5,000 円 ②団体(視聴人数５名まで) 20,000 円

※視聴人数が５名以上の団体様(自治体、民間法人、ボランティアグループ等)は、社会福祉研修センターにご相談下さい。

申込み 申込みフォーム(https://fs220.xbit.jp/b646/form5/)をご利用ください。

※お名前、ご所属、連絡先等を入力のうえ、送信していただきますと、自動返信メールによるご案内(パスワード、入金先情報)が届きます。
※詳細は「社会福祉研修センター」ホームページに掲載しています。
https://gakuchoshitsu.net/kenshu

申込みフォーム QR コード

その他 本学のネットワークを元に、研修・講演に関するご相談をお受けしています。

お問合せ先：日本社会事業大学 学長室 社会福祉研修センター
住 所 〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30
電 話 042-496-3237(直通) FAX 042-496-3244
メール ondemand@jcsw.ac.jp